

令和4年度 第3回 豊後高田市定例記者会見【資料】

配布日 令和4年11月25日（金）10:30～



11/15 授賞式(東京都)の様子

2年連続入賞！
第3回恋人の聖地 地域活性化大賞「審査員賞」受賞！

真玉地区の「恋叶トンネル」の取り組みが、地域活性化に大きく寄与したと高く評価され、恋人の聖地第3回地域活性化大賞の「審査員賞」を受賞しました。

■令和4年度豊後高田市一般会計補正予算（第5号）の概要について

補正額 **4億5,325万7千円※**

※内訳※

- | | |
|-----------------------|-------------|
| ①新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策分 | 2億2,640万4千円 |
| ②通常分 | 2億2,685万3千円 |

補正後の予算総額 **190億2,932万5千円**

※「歳入歳出の内訳」は、別紙「豊後高田市一般会計歳入歳出補正予算事項別明細書（第5号）」のとおりです。

今回の補正について、新型コロナウイルス感染症及び物価高騰対策の主なものとしては、まず、国の電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金の対象とならない市民税所得割非課税世帯に対し、市独自で5万円を支給する「物価高騰対策特別支援金事業」を計上しています。

さらに、そば・ハトムギの乾燥調製設備整備に係る支援経費、30%プレミアムを付けた「地域消費喚起プレミアム商品券事業」、売り上げの回復が厳しい事業者を対象とした「中小事業者事業継続支援事業」、市内宿泊施設の利用促進を図る「みんなで応援！宿泊再生事業」、公共交通運行事業者、福祉施設、高齢者福祉サービス事業所、漁業者などへの物価高騰対策支援経費などを計上しています。

通常分の主なものとしては、台風14号で被災した農業用施設の復旧に要する費用補助や、昭和の町の景観整備を前倒しして実施する「都市構造再編集中支援事業」、高田小学校の施設整備に伴う測量設計費及びキラリいろ幼稚園の保育室を拡張する改修設計費などを計上しています。

なお、台風14号により被害を受けた農地、農業用施設、林道、市道及び河川に係る災害の復旧にあたり、早急に予算措置が必要なため、一般会計補正予算（第4号）を11月11日付で専決処分いたしました。

施策など

■恋人の聖地地域活性化大賞 2年連続入賞

■新型コロナウイルスワクチン接種状況について

■パートナーシップ宣誓制度 令和5年4月1日スタート

イベント

■令和5年二十歳のつどい（令和5年1月2日開催）

■3年ぶりの開催！新年を祝う伝統行事「ホーランエンヤ」
（令和5年1月8日開催）

■恋人の聖地 地域活性化大賞 2年連続入賞！

真玉人道トンネル、通称『恋叶トンネル』が、NPO法人地域活性化支援センター・恋人の聖地観光協会が主催する、第3回「恋人の聖地地域活性化大賞」の「審査員賞」を受賞しました。

「恋人の聖地地域活性化大賞」とは

「恋」、「恋愛」をテーマとして地方創生事業を発展させた成功事例や全国各地の地域資源を活用した特徴のある取り組みの成功事例を募集し、優秀な取り組みに対し、NPO法人地域活性化支援センター、恋人の聖地観光協会（後援：環境省、観光庁）から贈られる賞です。

本市は昨年「長崎鼻パーフェクトビーチ事業」の観光庁長官賞に続く、2年連続の入賞となりました。



審査員賞を受賞した『恋叶トンネル』



11/15(火)、東京の青山セントグレース大聖堂で授賞式が行われ、審査員の假屋崎(かりやざき)省吾さんより、佐々木市長へ表彰状が授与されました。



『恋叶トンネル』とは

国道213号、全長421メートルの人道トンネル通称「恋叶トンネル」。トンネル内の壁面には地元の小中学校、高田高校の児童生徒や県内大学生、一般の有志の方々により、「恋を叶える場所」をテーマに描かれた約50点以上のフォトジェニックなアート作品が並んでいます。

■新型コロナウイルスワクチン接種状況について

1. 全年代の接種状況（令和4年11月20日現在）

■オミクロン株対応ワクチン接種（令和4年9月20日 施行） 接種開始：10月3日～

全年代 人口	接種1回目		接種2回目		接種3回目		接種4回目		接種5回目	
	回数	接種率	回数	接種率	回数	接種率	回数	接種率	回数	接種率
22,294人	18,101回	81.2%	18,018回	80.8%	15,565回	69.8%	10,301回	46.2%	1,806回	8.1%
うち オミクロン株対応ワ クチン接種	—		—		112回		2,046回		1,806回	

2. 乳幼児・小児の接種状況（令和4年11月20日現在）

■小児の追加接種（3回目） 接種開始：10月1日～

■乳幼児の初回接種（令和4年10月24日 施行） 接種開始：11月17日～

区 分	対象 人口	接種1回目		接種2回目		接種3回目	
		回数	接種率	回数	接種率	回数	接種率
乳幼児 （生後6か月～4歳）	782人	10回	1.3%	0回	0.0%	0回	0.0%
小児 （5歳～11歳）	1,208人	296回	24.5%	290回	24.0%	77回	6.4%

※ 接種状況の数値は、ワクチン接種記録システム（VRS）及びワクチン接種円滑化システム（V-SYS）のデータをもとに県から提供されたものです。
 ※ 総務省が公表している「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（令和4年1月1日現在）」を分母にし、接種率を出しています。

■パートナーシップ宣誓制度 令和5年4月1日スタート

双方又はいずれか一方が性的少数者(マイノリティ)であるカップルが、お互いを人生のパートナーとして約束したことを市が尊重し、受領証を市長が交付する制度です。(県内自治体では本市で4番目の導入)

1 <制度導入の目的>

- 性的少数者の方々の生きづらさの解消
- 性的少数者の人権課題に対する市民への理解促進
- 「地域の活力は人である」という信念のもと、多様な性を認める市であることを広く内外にアピールすることで移住、定住につなげる。

2 <交付対象者>

- ① 双方が成年に達していること。
- ② 一方が、市内に住所を有している又は市内へ宣誓の日から原則14日以内に転入を予定していること。
- ③ 双方に配偶者(事実上の婚姻関係にある者を含む。)又は双方以外のパートナーシップの関係にある者がいない者であること。
- ④ 双方(双方が養子縁組をしている場合を除く。)が、近親者(直系血族若しくは三親等内の傍系血族又は直系姻族)でないこと。

3 <宣誓の流れ>

- ①二人で「パートナーシップの宣誓書」への記入
※住民票、戸籍抄本が必要



- ②要件を満たしているかどうかを市が確認



- ③「受領証」と「受領カード(下記)」を交付 (表面)

パートナーシップ宣誓書受領カード

豊後高田市パートナーシップ宣誓制度実施要綱の規定により、パートナーシップの宣誓をされたことを証します。

【本人】	【パートナー】
_____ 様	_____ 様
年 月 日生	年 月 日生
宣誓日 年 月 日	第 号
豊後高田市長 印	

受領カード

提示

4 <制度を導入している他市町村の事例を参考に、利用できる具体的な市民サービスを検討中です>

(例)

市営住宅の入居や移住・定住に係る支援事業など

●令和5年1月2日 令和5年豊後高田市二十歳のつどい開催

4月から成人年齢が20歳から18歳に引き下げられましたが、本市では従来どおり、対象年齢を20歳のまま、名称を変更して開催します。

- 名 称:豊後高田市二十歳(はたち)のつどい
- 日 時:令和5年1月2日(月・振休)14:00開式
- 場 所:中央公民館
- 対象者:平成14年4月2日～平成15年4月1日に生まれた方
- 参加予定人数:161名



令和4年1月3日成人式の様子

< 令和5年二十歳のつどいについて >

参加者全員に抗原検査キットを配布し、当日の朝検査を実施するなど感染防止対策を万全にしたうえで開催します。

後日、改めてリリースでご案内いたしますが、報道機関の皆様で、取材をご予定される方には、抗原検査キットをお送りいたします。

【次第】

- | | |
|------------------|---------------|
| ▼オープニングアトラクション | 7.来賓紹介 |
| 1.開式のことば | 8.参加者代表謝辞(1名) |
| 2.国歌静聴(ピアノ演奏) | 9.万歳三唱 |
| 3.証書授与(代表者2名へ授与) | 10.閉会のことば |
| 4.記念品贈呈(代表者1名) | ▼アトラクション |
| 5.市長祝辞 | ▼記念撮影 |
| 6.来賓祝辞 | |

■令和5年1月8日 3年ぶりの開催！新年を祝う伝統行事 ホーランエンヤ

①江戸時代中期から始まったとされる、新年を祝う伝統行事「ホーランエンヤ」が開催されます。

この祭りは、昔、年貢米を島原(※)や大阪の蔵屋敷に船で送っていましたが、その廻船の航海の安全と豊漁を祈願する行事。300年以上の歴史があり、大分県の選択無形民俗文化財に指定されています。(※)本市は江戸時代、島原藩の飛地でした。

②大漁旗や万国旗などで装飾された宝来船に、“漕ぎ手”の締め込み姿の若者らが乗り込み、桂川河口にある琴平宮に参拝した後、『ホーランエンヤ、エンヤノサッサ』の掛け声とともに、1kmほど上流にある若宮八幡宮に向かって、満潮の上げ潮に乗って漕いでいきます。

③川上りの途中、船上ではエビス・ダイコクの2神に扮した少年が踊りを踊って祭りを盛り上げ、川岸を埋める観客目掛けて紅白の祝餅がなげられ、川岸の観客から祝儀が出されると漕ぎ手の若者が寒中の川に飛び込み、勇ましく泳いで受け取りに行く様子に観客から歓声が上がります。

※今回は、川上りの途中の餅まきは行われませんが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、御玉橋付近に停船後の餅まきは行われません。

◆日時 令和5年1月8日(日)

9時30分頃～

◆場所 桂川(磯町～御玉橋)

「ホーランエンヤ」のYouTube動画
(市公式チャンネル)



